

まんまるはーと月形町



# 月形町

旬の新鮮情報

## 2016年2月号



### 2月のこよみ

**(平) 如月 (きさらぎ)**  
寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」という説が有力です。

- 3日【節分・豆まき】豆をまいて鬼を払う日
- 4日【立 春】冬の間閉ざされた万物に春の陽気が立ち始める
- 11日【建国記念日】昭和42年から始まる
- 19日【雨 水】冬の氷雨が陽気に溶けて雨水となって下がることを言います。この日に雛人形を飾ると良縁に恵まれるという説があります。

### 今月の行事予定

- 1日 資材店舗棚卸し
- 12日 JA女性部通常総会  
JA役員、女性部員との意見交換会
- 16日 第1回金融・営農合同委員会
- 19日 第1回理事会



URL:<http://www.hamanasu.to/ja-moon/>

## 平成二七年度 第八回

# 月形蔬菜生産組合通常総会 開催

一月二五日、月形蔬菜生産組合（植松博幸組合長）は、第八回通常総会を開催されました。

植松組合長は「昨年の春は積雪も少なく農作業も順調に進んだが、六月頃の天候不順や低温等が生育に影響して出荷量の減少や品質の低下などが発生したが、七月に入って天候が回復し出荷ペースも平年並みに回復となった。全体を通してみると出荷量はそれほど多くはなかったが、単価は比較的高く保たれており、昨年並みの売上高になった。

今後は生産者の離農などにより作付面積は減少傾向にあるが、行政・農協にも協力いただき生産面積の維持を図っていきたい。」と挨拶され、続いて櫻庭町長、水口代表理事組合長より祝辞を頂きました。



その後、議長として山田綾一氏（南耕地一）が選任され、議事が進行され、提案された議案について、全て満場一致で可決されました。

### 〈平成二八年度役員〉

組合長	植松 博幸
副組合長	米林 信廣（南瓜生産部会長）
副組合長	小林 衡（果菜生産部会長）
副組合長	加藤 隆行（トマト生産部会長）
会計	岡 尚志
役員	滝沢 剛
	石森 誠
監事	永井 宗壹
	内藤 康志



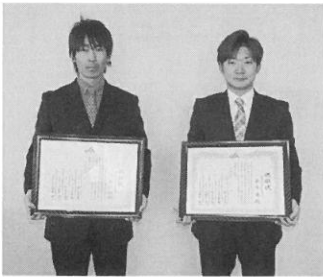
議長 山田 綾一 氏

## 新規就農者激励状贈呈式

平成二八年二月二日、新規就農者に対してJAグループ北海道からの激励状贈呈式及び意見交換会が行われました。

平成二七年度、激励状を贈呈されたのは月ヶ岡の伊藤 優治 氏と安倍 慎 氏の二名で、阿部専務理事よりこれからの農業・農村を担う一員として農業に意欲的に取り組むことを期待し、激励状と記念品が贈呈されました。

その後、二人が就農したきっかけや、今後の営農について意見交換をされました。



左 伊藤 優治 氏、右 安倍 慎 氏



# 月形町農協青年部

# 第六四回通常総会

一月七日、JA月形町青年部(岩崎貞治部長)は、第六四回通常総会を開催されました。

岩崎貞治部長は開会で「近年、TPP等により緊迫した農政状況の中、農協や関係機関各位のご協力の下、継続して行っている各青年部事業を平成二七年度に於いても滞りなく実施でき、部員一丸となつて活動に取り組めたことは今後の青年部活動や営農に結びつくものと思う。今後も月形町の農業を皆さんと力を合わせて乗り切れるようご協力をお願い申し上げます。」と挨拶されました。  
 続いて、櫻庭町長、水口代表理事組合長より祝辞を頂きました。



その後、議長として、池上公大氏(南札比内)三三が選任され、議事が進行され、提案された議案について、全て満場一致で可決されました

今回の青年部総会において、役員改選が行われましたので報告致します。

## 平成二八年度 月形町農協青年部役員

部長	岩崎 貞治
副部長	残間 保
副部長	大江 圭輔
会計理事	刈田 宗彰
営農理事	石川 貴之
農政理事	安倍 慎
代表監事	川口 拓也
監事	山田 直樹
参与	佐藤 達也



## 平成二八年度

## 月形町農協青年部部長挨拶



部長  
岩崎 貞治

平成二八年一月七日、第六四回月形町農協青年部通常総会において前年より引き続き青年部長に就任する事となりました。

日頃より青年部活動に対して、JAはじめ組合員の皆様、各関係機関の皆様の温かいご支援、ご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。前年同様、精一杯努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、日々変化する農業情勢の中で、青年部としても各種研修会への参加などで知識と技術を身に付けていかなければなりません。今回の改選で若手部員が役員に就任したことで、これからの青年部活動また月形町農業の活性化に繋げていく為に努力して参りますので、皆様方の今まで以上のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

第28回 J A北海道大会 パネルディスカッション  
農業価値の向上をけん引する北海道農業  
若者がほしがる我が国農業

北海道経済連合会 名誉会長 近藤 龍夫 氏

J A北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJ Aグループに期待すること」をシリーズで紹介します。



近藤 龍夫 氏

(ごんどう たつお)

北海道経済連合会 名誉会長  
公益社団法人北海道観光振興機構 会長

第1回は、近藤龍夫氏の提言を紹介します。

北海道が率先して国民への農業価値理解活動を

農業価値とは農業の存在価値的な意味合いと理解して頂きたい。

世界的には、『国土を確保して守ること』、『エネルギーを確保すること』、『農業を主とする食を守ること』、この3つが国として最低限やらなければならぬこと。

国家的に食・農業を価値ある重要なことと位置付けている国がたくさんある。食・農業を大事にしなければならぬ。

しかし、わが国では、農業の重要性、農業価値が忘れられてきた感がする。

将来的には世界的な食料危機がささやかれ始めており、

今こそ農業の重要性の国民的な理解が必要。政治や、幼少教育の場などを通じて農業立国北海道が率先して理解活動を行っていくべき。この理解こそが正しい農業の普及につながる力にもなる。

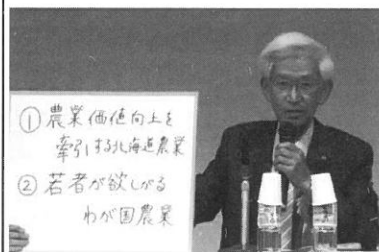
北海道農業実現に向け国の制度づくりを

これからの農業政策において、国民に必要な基礎的な食料にあたる重要品目については、国が一定の自給力を確保するということを前提として、確たる生産目標と、その実現のための政策・制度を定める。そして、目標達成に協力する優良な農家が安心して生活し、生産に励むことができるように守るべくところは守るなどして、生産環境を整備していく必要がある。

このような生産環境づくりの政策提言や生産活動の推進すなわち農業価値向上のけん引役として、北海道が産学官一体となって国を動かして実現

を目指すべき。

これらが実現してこれまでの猫の目のように変わる対策の政策ではなく不動の政策となれば、国民とりわけ農業者の望むところであって、「若者がほしがる農業」として目指すところが明確になるので、将来に希望がもてる北海道農業が実現していくのではないかと信じている。



行きつくところ、日本の農業は、北海道的な農業に変わっていくべき。それが、世界の常識的な農業の姿。

積極的に中央に出ていき、国の制度作りに参加する。北海道農業に近い制度をつくるようにもっていく。それには

農業者だけでなく、北海道大学にも担ってもらおう。また、例えば農業に経済的なセンスを入れるときも、経済家ではなく、農業経済は農家がやれるよう北海道大学に力になってもらおう。農業経済は農家に任せておけというくらい、農業者は日本経済全体にも関わっていく力を持つべきで、農業の専業地帯である北海道から発信するのが産学連携の形である。

そろそろ日本の農業構造を変えるべき時に来ている。やはり、北海道から発信していくのが一番素直な姿であり、スタートポイントになって欲しい。

最後に一言

力強い農業が今回の大会の基本目標になっている。

そのためには生産、加工、流通、販売、それぞれがこれからの農業には特に科学的に、そして経済学的にも世界の最先端、高度化を図って日本の農業をリードする、そんな北海道農業になって頂きたい。



# お 知 ら せ



## 平成28年度(27年度事業)地区別懇談会のご案内

開催日 平成28年3月7日(月)～3月8日(火)

	開催日	開催時間	開催場所	農事組合名
第一日目	3月7日 (月曜日)	午後2時00分	多目的研修センター	赤川、農事会、雁里、南耕地1、 南耕地2・3、昭栄、知来乙、月ヶ 岡、新田、新和
第二日目	3月8日 (火曜日)	午後2時00分	札比内 コミュニティーセンター	北農場1、北農場2、豊ヶ丘、 新富、札比内、南札1、南札2、 新宮

### ■ 農事組合長一覧 ■

平成28年度の農事組合長は下記の通りです。

	農事組合名	氏 名		農事組合名	氏 名
1	北 農 場 1	太 田 敏 文	10	月 ヶ 岡	伊 藤 格
2	北 農 場 2	柴 田 孝 市	11	新 田	山 際 栄 二
3	赤 川	岩 崎 吉 市	12	新 和	青 柳 俊 治
4	農 事 会	宮 下 勇 作	13	豊 ヶ 丘	与 佐 岡 登
5	雁 里	直 浩 亨	14	新 富	横 井 昭 洋
6	南 耕 地 1	常 本 勉	15	札 比 内	金 子 廣 司
7	南 耕 地 2・3	今 井 伸 幸	16	南 札 1	山 田 肇
8	昭 栄	服 部 栄	17	南 札 2	山 田 啓 一
9	知 来 乙	永 井 宗 壹	18	新 宮	中 條 敏 幸



中級資格認定者

藤井 優

今後自己啓発に  
努め、組合員の期待  
に応えましょう。

おめでとうございます。  
ます。

一月十六日、J A北  
海道中央会より資格  
認定試験の合格発表  
があり、当JAより  
1名が合格しまし  
た。

**農協職員資格  
認定試験**

# 平成26年産 米穀の共同計算の精算結果の報告①

【実施区分 : うるち米】

1. 精算明細 (1俵/60kg当たり)

対象品種 : きらら397、ななつぼし、おぼろづき、大地の星、その他

単位: 円

委託販売数量 (俵)	84,460.5 (99.6%)	J A独自販売 320.0 (0.4%)	加重平均 84,780.5
------------	---------------------	----------------------------	------------------

収入	販売代金	12,759	12,420	12,758
	その他	51	0	51
合 計		12,810	12,420	12,809

支出	検査・保管に係る経費	313	313	313
	・農業倉庫入出庫料	96	96	96
	・農業倉庫保管料	167	167	167
	検査料	50	50	50
	その他	0	0	0
	概算金金利	67	0	67
	事故処理経費	8	0	8
	生産・集荷・販売に係る経費	606	0	604
	・運賃	551	0	549
	・集約保管料	79	0	79
	・政府充て費	0	0	0
	・精米委託費用	5	0	5
	・価格センター負担拠出金	0	0	0
	その他	▲29	0	▲29
	その他経費	54	54	54
・基金への拠出金	0	0	0	
・フレコン収支支払金	0	0	0	
・出荷奨励措置負担等	54	54	54	
その他	0	0	0	
手数料	633	438	632	
・J A手数料	433	438	433	
・ホクレン・全農手数料	200	0	199	
合 計	1,681	805	1,678	

概算金 (仮精算時)	9,074	8,959	9,074
------------	-------	-------	-------

差 引 精 算 額	2,055	2,656	2,057
-----------	-------	-------	-------

## 2. 加減算精算の明細

### (1) 格差金

#### ①品種格差 (一般米)

品種	加算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
きらら397	0	30,398.0
ななつぼし	1,249	43,517.5
ゆめぴりか	5,141	9,474.5
おぼろづき	727	697.0
大地の星	▲361	583.5
その他	▲1,148	110.0

#### ②等級格差

等級	減算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
1 等	0	84,780.5
2 等	▲1,000	0.0
3 等	▲2,000	0.0

#### ③品位格差

##### 【きらら397】

品位区分	加減算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
6.8%以下	498	3,303.4
6.9~8.4%	0	21,460.7
8.5%以上	▲222	5,633.9

##### 【ななつぼし】

品位区分	加減算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
6.8%以下	498	11,381.6
6.9%~7.9%	0	26,092.1
8.0%以上	▲270	6,043.8

##### 【ゆめぴりか】

品位区分	加減算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
6.8%以下	498	1,127.9
6.9%~7.4%	0	4,463.0
7.5%~7.9%	▲3,612	2,164.1
8.0%以上	▲4,854	1,719.5

##### 【おぼろづき】

品位区分	加減算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
基準品	0	219.2
基準外 B	▲402	477.8

### (2) 出荷奨励加算

対象区分	加算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
粗玄米重量が補正後共済基準反収×作付面積以上	90	51,295

## 3. 生産者手取り額

単位: 60kg/俵、円

品種	等級	品位区分	「こめ工房」 本精算時	「こめ工房」 仮精算時	出荷奨励 加算額	検査料 保管料 入出庫料 控除額	生産者手取り額
			①	②			
きらら397	1 等	6.8%以下	9,480	762	90	312	10,020
		6.9%~8.4%	9,000	744	90	312	9,522
		8.5%以上	8,700	822	90	312	9,300
ななつぼし	1 等	6.8%以下	9,480	1,794	90	312	11,052
		6.9%~7.9%	9,000	1,776	90	312	10,554
		8.0%以上	8,700	1,806	90	312	10,284
ゆめぴりか	1 等	6.8%以下	11,460	3,792	90	312	15,030
		6.9%~7.4%	10,980	3,774	90	312	14,532
		7.5%~7.9%	9,000	2,142	90	312	10,920
		8.0%以上	8,700	1,200	90	312	9,678
おぼろづき	1 等	基準品	9,000	2,052	90	312	10,830
		基準外 B	8,700	1,950	90	312	10,428
大地の星	1 等	一般	8,460	894	90	312	9,132
その他	1 等	一般	9,960	▲372	90	312	9,366

# 平成26年産 米穀の共同計算の精算結果の報告②

【実施区分 : 加工用うるち米・政府備蓄米】

## 1. 精算明細

【平成26年産 加工用うるち米・政府備蓄米 (1俵当たり)】

単位:円

	系統販売	J A独自販売	加重平均
委託販売数量 (俵)	1,236.0		1,236.0

収入	販売代金	11,744	11,744
	その他	37	37
	合計	11,781	11,781

支出	検査・保管に係る経費	312	312
	農業倉庫入出庫料	96	96
	農業倉庫保管料	167	167
	検査料	49	49
	その他	0	0
	概算金金利	63	63
	事故処理経費	0	0
	生産・集荷・販売に係る経費	532	532
	運賃	289	289
	集約保管料	207	207
	政府売渡費用	0	0
	精米委託費用	0	0
	価格センター負担拠出金	0	0
	その他	36	36
	その他経費	1,544	1,544
	基金への拠出金	0	0
	フレコン取支支払金	77	77
	出荷奨励措置負担等	0	0
	その他	1,467	1,467
	手数料	599	599
J A手数料	411	411	
ホクレン・全農手数料	188	188	
合計	3,050	3,050	

概算金 (仮精算時)	7,998	7,998
------------	-------	-------

差 引 精 算 額	733	733
-----------	-----	-----

## 2. 加減算精算の明細

### ①等級格差

等級	加算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
1等	0	1,236.0
2等	▲648	0
3等	▲1,728	0

### ②品位格差

品種	加算単価 (円/俵)	対象数量 (俵)
きらら397 ななつぼし 大地の星	0	1,236.0
その他	▲300	0.0

## 3. 生産者手取り額

単位:60kg/俵、円

品種	等級	「こめ工房」 仮精算時	「こめ工房」 本精算時	検査料・保管料 入出庫料	生産者手取額
		①	②	③	①+②-③
きらら397 ななつぼし	1等	7,998	1,178	312	8,864

## 岩見沢税務署からのお願い

税務署での税金に関する相談で、関係書類や事実関係など、具体的内容を確認させていただく必要がある「個別相談」については、事前に電話にて相談日時を予約していただく「事前予約」をお願いしています。

このうち、資産課税（相続税・贈与税・譲渡所得）に関する「個別相談」については、相談日を設けて「事前予約」を受け付けておりますので、御協力をお願いいたします。

平成28年2月から3月の相談日は次の通りです。

**2月**

平成28年2月 4日(木) 平成28年2月18日(木)  
平成28年2月25日(木)

**3月**

平成28年3月10日(木) 平成28年3月17日(木)  
平成28年3月24日(木) 平成28年3月31日(木)

また、一般的なご相談は、電話予約センターをご利用ください。

○ 個別相談の予約 岩見沢税務署 (0126-22-0810 音声案内「2」)

○ 一般相談 電話相談センター (0126-22-0810 音声案内「1」)

なお、贈与税・譲渡所得（所得税）の申告のために来署される場合は、事前予約は不要です。



## Photo News



12月22日  
JA月形町女性部  
ワイン作り講習会開催



12月25日  
毛和牛の三つ子誕生



1月20日、22日  
JA月形町女性部  
味噌作り講習会開催



1月18日  
月形花き生産組合  
青年部通常総会



# 理事会だより

## ■第十一回 理事会議案

(平成二十七年十二月二十五日開催)

- 監査第一号 平成二十七年度第三回(十月末)定期監査報告について
- 付議第一号 平成二十七年度第三回(十月末)定期監査の事務処理について
- 付議第二号 貸付金にかかる理事の連帯保証人について
- 付議第三号 平成二六年産米「こめ工房」本精算(案)及び共同計算精算結果について
- 付議第四号 平成二十七年産米「こめ工房」仮精算(案)について
- 付議第五号 出資金減口並びに譲渡の承認について
- 協議第一号 平成二八年度事業計画(案)について
- 報告第一号 平成二十七年十一月末現在組合員の動向について
- 報告第二号 平成二十七年十一月末現在財務状況について
- 報告第三号 平成二十七年度仮決算(十一月末)状況について
- 報告第四号 平成二十七年度地区別懇親会の開催について

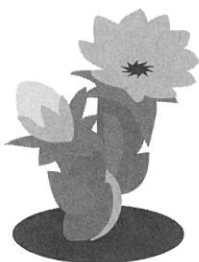
## ■第十二回 理事会議案

(平成二八年一月二三日開催)

- 報告第五号 担保評価マニュアルの改正について
- 報告第六号 年末・年始の業務予定について

- 付議第一号 破綻懸念先・実質破綻先・破綻先債権の決算未収利息不計上処理について
- 付議第二号 特別積立金(こめ工房積立金)の取崩しについて
- 付議第三号 不良債権の処理による貸倒損失について
- 付議第四号 目的積立金(貸付リスク管理積立金)の名称変更・積立目的の追加及び積立目標額の増額変更について
- 付議第五号 税効果会計 課税所得の見積もりについて
- 付議第六号 ホクレン月形給油所のJ A O C共同配送(案)について
- 付議第七号 平成二八年度 事業計画(案)について
- 付議第八号 平成二八年度 内部監査計画及び内部監査実施計画について
- 付議第九号 平成二八年度 個人情報保護計画(案)について
- 付議第十号 平成二八年度 経営定期点検実施計画(案)について
- 付議第十一号 労働保険事務組合事務処理規程等の改正について

- 付議第十二号 出資金譲渡及び減口の承認について
- 報告第一号 平成二十七年 十二月末現在組合員の動向について
- 報告第二号 平成二十七年 十二月末現在財務状況について
- 報告第三号 平成二十七年 十二月末現在事業計画・実績対比について
- 報告第四号 コンプライアンス事故報告概要について
- 報告第五号 平成二八年度採用職員の内定について
- 報告第六号 平成二十七年度対策組合員のクミカシ要精算について
- 報告第七号 職制規程別表二「職務分掌表」及び別表三「職務権限表」の改正について
- 報告第八号 自動車共済損害調査業務の分担に關する協定の締結について
- 報告第九号 平成二十七年産大豆「豆工房」荷受・調整実績について
- 報告第十号 平成二十七年度第四回(決算)購買品現品棚卸しの実施について



平成二十七年十二月

二日 全道委員長会議

二〇一五年全道地区・市町村組織委員長会議

委員長

八〇九日 平成二十七年年度農業簿記・青色申告等講習会

書記次長

十八日 第三回委員長、農民政

治力結集連絡会議合同

会議 四役

第六回(拡大) 執行委

員会 四役

岩見沢地区農業税務談

話会 四役

南空知五単組 書記長・

書記次長会議 四役

平成二八年一月

六日 仕事始め

月形町農協新年会

委員長・副委員長

六四回通常総会

副委員長

八日 月形町新年交礼会

四役

一五日 月形町農業再生協議会

幹事会 書記長

月形町農業再生協議会

臨時総会

委員長・書記長

農事組合長会議

委員長

常任委員会

常任委員

一八日 税対事務所開設

二一日 空知農民政力結集連

絡会議 臨時総会

第一回(拡大) 執行委員

会 四役

南プロック新年会

四役

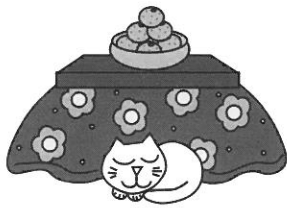
二二日 道議会議員 白川祥二

さんを囲む新年交礼会

常任委員

二八日 税担当者会議

書記長・書記次長



農協文庫 今月号 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課までご連絡下さい。



野菜を毎日手軽に食べられるレシピ本、発刊!  
『野菜好きの管理栄養士が厳選! 野菜のおかず決定版』

このたび、「もっと手軽に」「それぞれのニーズにあった」調理で毎日野菜を食べられる健康レシピを300点掲載した標記図書を発刊いたします。

人気料理家・藤井恵さんが教える「野菜をおいしくたっぷり食べるコツ」や「カロリー・塩分・糖質減のレシピ」も掲載しています。また、販売部数に応じた奨励費も用意しております。ぜひ、ご活躍ください。



カロリー、糖質  
塩分をキーワードにした健康レ  
シピ満載!

女性部(会)の料理教室での  
テキストや、各種記念品にご  
活用ください!

野菜をおいしく食べる会 編  
定価: 本体1,512円(税込)AB判・208頁